



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和5年5月31日（水） 発行 第2号

『最も多くの人を喜ばせたものが、最も大きく栄える』

校長 田代 雅規

現在 NHK の大河ドラマは、第 62 作目となり、2023 年 1 月 8 日から徳川家康の生涯を新たな視点で描いた『どうする家康』が放送されています。徳川家康は、戦国時代の日本の武将で、織田信長との同盟をもとに勢力を拡大し、豊臣秀吉の死後に引き起こした石田三成との関ヶ原の戦いに勝利し、1603 年に御陽成天皇より征夷大將軍に任じられ 264 年続く江戸幕府を開きました。

戦国時代の有名な大名の人のまとめ方には特徴があります。織田信長は、身分に関係なくできた人間には褒美を与え、しかし罰はどんな重臣にも与えていました。そのため、いくら出世しても油断できない緊張感があつたと言います。そして、豊臣秀吉は褒美（領地）によって人をまとめました。そのため、日本が安定したのは、新しい領地をえるために朝鮮に出兵したとも言われています。

徳川家康は、褒美以外に人のつながりを大切にしまとめました。家康は、『最も多くの人を喜ばせたものが、最も大きく栄える』と言ひ、多くの人を幸せにできれば、それだけ自分が幸せになれると考えました。その結果、徳川幕府が一番長い幕府として続いたと言われています。

中野中では、5 月 20 日（土）に運動会を行いました。昨年までは、新型コロナウイルスの感染防止のため、全校での運動会は実施できず、保護者の皆様や地域の方々の応援も制限がありました。今年は、1 日かけて全校で実施する 4 年ぶりの運動会でした。16 日（火）には、昨年同様の学年別の運動会も行いました。

4 月から 3 年生の運動会実行委員を中心に、運動会の種目を考えました。先生が全て決めるのではなく、実行委員の意見を参考にしながら、毎日遅くまで種目を考えました。運動が好きの人だけではなく、運動が得意ではない人たちも楽しめる運動会にしたいと新しい種目も考えました。走ったり、跳んだりする陸上種目ではなく、クラスで協力して取り組める種目を考えました。昨年実施した中野ボールアスロンや三角綱引き等の中野中のオリジナル種目も残り、「登校 5 分前」という新しい種目や部活動対抗リレーも復活させました。

学級数も 1 年生が 4 クラス、2・3 年生は 3 クラスとクラス数が揃いませんでしたが、1 年生の 2 学級を抽選で決めて、3 色の色別対抗ができるように実行委員が考えてくれました。その結果、他の学年の種目もみんなで応援し、協力してできるようになりました。運動会の係も昨年同様、強制ではなく、委員会のボランティア生徒を中心に行いました。

誰もがみんなで楽しめる中野中の運動会にしたいという実行委員の強い思いが実り、運動会実施後のアンケートでも 98%の生徒が『運動会が楽しかった』と回答していました。

徳川家康の言うように『最も多くの人を喜ばせたものが、最も大きく栄える』の言葉どおり、中野中はみんなが楽しめる運動会を自分たちの力で作り上げました。いつまでもこの楽しさが続いていくことを願っています。

最高の運動会でした。実行委員の生徒たちに感謝の気持ちで一杯です。



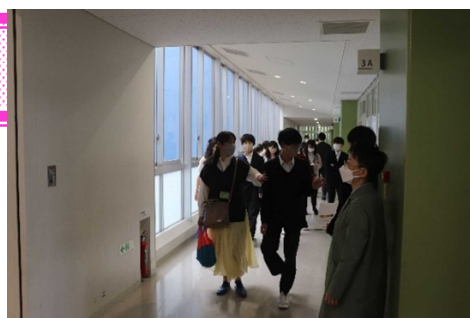
合同引き取り訓練 5月13日(土)

中野区では、震度5強の地震が発生した時には、中学生は保護者の方の引き取りになります。そのための練習を今年初めて中野中で実施しました。大きな震災が発生した場合には、小学生も引き取りになります。

小中学生の両方を引き取る場合には、中学生を先に引き取り、その後小学生を引き取ることになる想定し、今回は桃園第二小学校、桃花小学校、平和の森小学校と連携して、同日に引き取り訓練を実施しました。中野中では、当日83%の保護者の方に引き取り訓練に参加していただきました。訓練後のアンケートでは、「今回の引き取り訓練は、スムーズに行われていましたか？」の回答には肯定的な評価が100%でした。

<保護者の方の感想>

- ◆中野中の訓練後、平和の森小学校へ妹を引き取りに行きました。「合同」で訓練していただけたので、より具体的なイメージができる訓練となりました。
- ◆中学校内の引き取り訓練は、とても良く検討されており、円滑な引き取りができたと思います。
- ◆校内の移動のコースが決まっていたので、混乱なく引き取りできました。そのまま小学校へ妹の引き取りも一緒に行き本人たちの役割なども話し合いました。



生徒総会 5月12日(金)

今年度の生徒会の活動方針を決める生徒総会が今年度は、全校生徒を体育館に集めて実施されました。昨年は、コロナ禍でもあり2・3年生だけが体育館で、1年生はオンラインを利用して教室で参加する形式でした。今年の生徒会のスローガンは、『貫推』で目標に向けて全員で取り組んでいくという意味が込められているようです。

生徒会役員も今年度は、生徒総会の議案書も紙で作るのではなく、一人1台のiPadに配信しました。各委員会の説明も正面に示して、委員長がプレゼンしました。説明も分かりやすく、説明する態度もとても立派でした。また、各委員会の活動には1年生や2年生からも多くの質問や要望があり、全ての質問に委員長が丁寧に説明したり、回答したりしていました。



小中連携教育協議会 5月17日(水)

5月17日(水)の午後に桃園第二小学校、桃花小学校、平和の森小学校の先生方が中野中に集まり、中野中の授業参観の後、小中学校で、児童・生徒の体力向上や健康教育についてどのような取り組みができるか話し合いました。今回は、講師に元第九中学校に勤務していて、現在東京国際大学の准教授の木原先生に講演をお願いして、全員で研修しました。



iPad の家庭での使用制限について

昨年の年度末の保護者アンケートにおいて、何人かの保護者の方から学校で配布しているiPadのご家庭での使用時間の制限をかけてほしいとの意見がありました。学校でも話し合い、生徒の健康面も考慮し、インターネット等の使用の時間制限をかけることにしました。制限は23:00~6:00で設定します。定期テスト終了後から運用します。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。